

感染防止対策で第8波に備える

ここに来て、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加してきています。大形中では、第7波の影響を受けて大空祭を2週間延期するなど、感染拡大の影響を受けつつも、校内での感染防止対策を徹底することで、教育活動の確保に努めてきました。その第7波が収束傾向にあった中で、第8波の到来を予感させるような状況が迫りつつあります。

いつ、誰が感染しても不思議はありません。対策を講じていても、感染経路不明で感染してしまう人もいます。このような状況であり、感染リスクを0にすることは不可能ですが、努力によってリスクを下げることは可能です。そこで、学校での感染拡大を防ぐために、全員が意識を高くもって感染防止対策に取り組むことが求められます。この努力が、「学びを止めない」ことや「活動を確保する」ことにつながるのです。



マスクの着用率は100%です！



寒くなっても換気を確保！

今年は、新型コロナウイルス感染症とともにインフルエンザの流行も心配されています。マスク着用の効果によるものなのか、昨年度はインフルエンザにかかる人がほとんどいませんでした。そのため、免疫がなくなっていることから、今年インフルエンザが流行するのではないとも言われています。



寒さをものとしめない！
半袖・ハーフパンツの強者！

風邪を含め、体調不良等による欠席や遅刻・早退が多くなっています。充実した学校生活を送るには、心身の健康を保つことが大切です。食事や睡眠などにも意識を向け、健康管理に心掛けていきましょう。

休日の部活動の地域移行 後援会理事会で協議！

「休日の部活動の地域移行」に関する取組として、保護者には9月30日（金）の保護者説明会で、また生徒には10月7日（金）の前期終業式で、それぞれ説明を行いました。現在は、各部で部活動保護者会を順次開催し、来年度に向けた話し合いや準備を進めているところです。

休日の部活動の地域移行まで半年を切りました。大形中学校後援会の取組を確認し、今後の支援の見通しを立てるために、理事会が15日（火）に開催されました。そこで、教職員や生徒・保護者とは違う立場や見方から様々なご意見や提案をいただきました。今後の準備に生かしていきたいと思えます。

大形中の、そして大中学生の活動に対して、地域の皆様からこれだけの熱い思いをもってかかわっていただいていることを、とてもうれしく思います。ありがとうございました。



活発な議論が行われました！

大中生、これでいいのか？ 植え込みへのいたずら

大形中の校門を入ると、校舎につながる道の両側に整備されたツツジの植え込みがあり、毎年春にきれいな花を咲かせています。これは、用務員の武田さんが丁寧に整えてくれているものです。



この穴を見て何を考えるか？
重大に受け止める必要がある。

この植え込みのあちこちに大きな穴があることが、先日分かりました。これは、ツツジが枯れてできた穴ではなく、人為的にされたものに間違いありません。これについては、生徒指導主事の大森先生から生徒の皆さんに話があったとおりです。皆さんは、大森先生の話をもどのように受け止め、考えたでしょうか。

大形中は、生徒全員が安心して、楽しく気持ちよく生活できる学校でなければなりません。環境を整えることはその大切な要素の一つであり、そのために汗を流してくれている人がいることを忘れてはいけません。大中生の姿勢が問われています。

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年11月16日

第20号